

ふるさと会瀬から
小室節雄先生回顧録 その三
「戦争体験 艦砲射撃と 焼夷弾攻撃」

昭和20年7月17日の夜半、疎開先の太田で就寝中、轟音で飛び起きた。兄弟で夢中で夜道を西山荘の近くに避難した。両親がいる日立が攻撃されている。ピカソしてズドンが続く。飛行機の爆音も聞こえないから艦砲射撃と判断したが、経験したことのない怖さであった。

7月18日朝、両親の安否確認のため、日立に自転車で向かった。石名坂を過ぎるころまで、なぜか日立鉾山の大煙突のことばかり気にしていた。大煙突は、日立を空爆するときの目印になっていた。昨夜の艦砲射撃でなく聞いていたからである。昨夜の艦砲射撃でなく聞いてしまえば、今後の日立攻撃に支障をきたすだろうと単純に考えた。ところが、大煙突はそのままで、何事もなかったように立っていた。その時の複雑な気持ちには表現しようがなかった。油縄子付近を通ったとき、大木が砲撃でなぎ倒されて見ると、そのすごさに驚いた。会瀬から我が家に向かったが海岸近くは砲撃による被害がなく一安心した。家にたどり着き、家も両親も健在であることを確認し、ほっとした。休む間もなく、父の自転車と私の自転車をひもで結び、疎開先の太田へと引き返した。

翌7月19日、日立に泊まることにし、自転車で太田を出発した。その道々、大勢の人々が日立方面から逃げるようにして、徒歩で、あるいはヤカーを引いてくるのに出会った。その数は、何百、何千と目まぐるしく、こ、こ。

その日の真夜中、空襲警報のサイレンが鳴り響いたので、すぐに近頃の横穴防空壕に避難した。飛行機による焼夷弾攻撃が一時間以上も続いた。防空壕から焼夷弾の落ちてくる音がよく見えた。まるで大雨降っているような感じで、ザー、ザーと大きな音を立て、夜空を覆うような火の塊が落ちてきた。

なぜか怖さをあまり感じなかったのか防空壕を飛び出し自宅に入った。六畳間に焼夷弾が二発、畳を突き破って火を噴いていた。火勢が弱かったのでも手でつかみだし戸外に投げ出した。屋敷内に在った味噌醤油類を扱う店にも二発落下して、翼朝、駆手前の線路上の貨物車が炎上しており、人だかりしていた。たので行ってみると、積荷の大豆を奪うように取り出していた。海岸には焼夷弾の燃え殻が、数えきれないくらい砂浜に突き刺さっていた。自宅の前にも不発の1mを超す大型の焼夷弾が転がっていた。た。担いで砂浜に持ち出したが、近所の小学生数名も後を追った。焼夷弾の横腹を石で破り火をつけ、たが、火が上ったので逃げ出した。火の手が覚えている。



花いっぱい国体応援
地域の活性化事業

2019年に開催される茨城国体に向けて国体推進委員会を立ち上げ、昨年度から23コミュニティはプランターに花を植える子どもたちが心のこもった応援メッセージを書いて添えています。

完成予定は11月末です

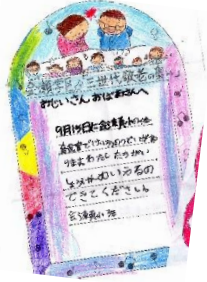
平成30年9月15日(土)
 あいにくの雨の中関係者の皆様ありがとうございました。
 9時開会 幼・保園、全児童による発表そして大抽選会



かたたたきとっても上手



米寿おめでとうございます



敬老者には児童からのメッセージ

会瀬学区「三世代敬老の集い」9月15日(土)・会瀬小体育館
出席状況(対象者は80歳以上・昭和14年4月1日以前生れです) 単位:人

地区名	対象者数 (米寿)内数	出席者数		
		本人出席(%)	代理出席(%)	合計(%)
旭・相賀	101(4)	18(17.8)	49(48.5)	67(66.3)
会瀬1	91(6)	30(33.0)	41(45.0)	71(78.0)
会瀬2・幸町	126(11)	49(38.9)	28(22.2)	77(61.1)
会瀬3・4, 中成沢	54(3)	15(27.8)	13(24.1)	28(51.9)
東成沢	149(7)	29(19.5)	52(34.9)	81(54.4)
合計	521(31)	141(27.1)	183(35.1)	324(62.2)

[本人出席内訳] 男:67人(最高齢93歳) 女:74人(最高齢92歳)



会瀬浜太鼓



幼稚園↑ 保育園↓



児全童 学年による発表

